

岐阜スタディ・ツアー 原三溪翁のふるさとを訪ねました

原三溪翁は岐阜で青木富太郎として生まれ青年時代を過ごしました。研究会初めての泊りがけとなった今回のツアーは、三溪翁の人となりや育んだふるさとを巡り、地元の人々との交流を実現しました。



← 富太郎の上京の起点、木曾川の笠松湊



← 原富太郎の出資により建てられた佐波八幡神社の拝殿



→ 柳津町にある富太郎の生家跡周辺を散策。



← 「原三溪・柳津文化の里構想実行委員会」との交流会を開催。横浜市の林文字市長と岐阜市の細江茂光市長のメッセージ代読して交換しました。



↑ 三溪の親戚筋の旧家で所蔵の書画を拝見



↑ 三溪園の三重塔のモデルと言われている神戸町の日吉神社の三重塔

→ 岐阜県歴史資料館で青木久太郎家文書を特別に閲覧。くずし字で書かれた富太郎の日記などを学芸員さんに読んでもらいました。



三溪も通った料亭「水琴亭」で昼食。 → 「時雨の間」には三溪直筆の襖絵があります。



↑ 母方の祖父・高橋杏村の墓表がある神戸町の善学院を訪問しました。

